

研究成果発表会・講演会

日時

令和7(2025)年
11月17日(月)
13:20~15:50

場所

富山県薬事総合研究開発センター
2階 大会議室
〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

参加費無料

講演 13:20~

「医薬品連続生産に関する最新情報と展望」

岐阜薬科大学 特任・特命教授 竹内 洋文 氏



近年、製薬生産プロセスの「連続化」に対する関心が国内外で急速に高まっており、日本ではすでに3件の承認が取得されています。中国・韓国をはじめとするアジア諸国でも注目が集まっております。

本講演では、コンソーシアム活動（CCPMJ）を通じて国内外の情報収集を行ってこられた先生より、連続生産の現状と今後の展望についてご紹介いただきます。

関連学会等でも積極的にこのテーマを取り上げてこられた先生のご講演は、製薬業界の未来を見据えるうえで大変有意義なものとなるでしょう。

研究成果発表 14:45~

① 連続生産方式による医薬品製造法の検討

—連続式湿式造粒機の機種別の比較およびデザインスペース構築—

製剤研究課主任研究員 永井 秀昌

連続生産技術の導入促進を目的に、装置特性の把握および管理戦略の検討を行いました。その結果、同一処方であっても装置間で顆粒および錠剤物性に差異が生じることを確認し、連続造粒工程におけるデザインスペースを構築しました。本発表では、これらの検討結果と得られた知見について報告します。

② 摂食調節の障害による過食性肥満の解析

—自然免疫分子による視床下部炎症の解明—

創薬研究開発センター主任研究員 渡邊 康春

メタボ予備軍や糖尿病患者では、摂食抑制が大きな負担となり、食事療法の効果が十分に得られないことがあります。その背景には、摂食調節中枢である視床下部の炎症が、レプチンによる摂食抑制シグナルを障害することが要因の1つと考えられています。本発表では、視床下部炎症の新たな誘導機序について、演者らの研究成果を報告します。

申込
方法

以下のURL（フォーム）またはFAXにてお申込みください。

お申込期限：11月10日（月）

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=iGuWdP5I>

お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当：浅井

TEL：0766-56-6026（代表） FAX：0766-56-7285



富山県薬事総合研究開発センター 研究成果発表会

FAX 0766-56-7285

フォームまたはFAXよりお申込みください

お申込期限 令和7年11月10日(月)

| | | | |
|-------------|---------|-------|--|
| 企業・団体名 | | | |
| 所属名 | | | |
| 申込担当者 氏名 | | 役職 | |
| 連絡先 | TEL: | FAX: | |
| | E-Mail: | | |
| | | | |
| | 参加者氏名 | 所属・役職 | |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| | | | |

ご記入いただいた情報は、当発表会の実施に係る業務以外には使用いたしません。

お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 浅井
TEL 0766-56-6026 FAX 0766-56-7285